

1/12-1/18#9御父のみこころを行なって、「かの日」、すなわちキリストの裁きの座の日に、私たちは御父の王国に入る!。「私たちの主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と力とを受けるにふさわしいです。あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです」(啓4:11):A神は定められた御旨の神であり、彼ご自身の喜びにしたがったみこころを持っています:1彼はご自身のみこころのために万物を創造しました。それは、彼がご自身の定められた御旨を達成し成就するためです。2啓示録は、神の宇宙的な行政を明らかにしており、私たちに神の定められた御旨を見せています。3二十四人の長老たちが神の創造に関して神へと賛美をささげることにおいて、彼の創造は彼のみこころと関係があります。B神のみこころは神の願いです。それは、彼が行ないたいことです:1神の大いなる喜びは、彼のみこころからであり、彼のみこころにおいて具体化されています。ですから、彼のみこころが先に来ます。2神は、彼のみこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。それは、彼がキリストにあってご自身を啓示することを通してです。すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通してです。3神は、彼のみこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行ないました。4神のみこころは彼の意図です。神の熟慮は、彼のみこころや意図を成就する道を彼が考慮することです。C神のみこころは、キリストに集中しており、キリストのためです。キリストが、神のみこころにおけるすべてです:コロサイ1:9 こういうわけで、私たちもこの事を聞いた日から、あなたがたのために絶えず祈り、そして願い求めています。どうかあなたがたが、あらゆる霊的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ。2:2 それは、彼らの心が慰められ、彼らが愛の中で結び合わされ、理解力から来る全き確信のあらゆる豊富へと至るため、すなわち、神の奥義なるキリストを知る全き知識へと至るためです。11:9において、神のみこころはキリストを指しています。神のみこころは深遠なものであり、私たちがすべてを含み無限に拡張するキリストを認識し、経験し、生きることと密接な関係があります。この方は神であり、人であり、宇宙のあらゆる積極的な事物の実際です。2キリストは、首位である方、あらゆることにおいて第一位である方です。3すべてを含み無限に拡張するキリストは、神のエコノミーの中心性と普遍性、すなわち、中心と円周です:a神のエコノミーにおいて、キリストはあらゆるもの

です。神が求めているのは、キリストだけです。すなわち、すばらしい、首位である、すべてを含むキリストです。彼はすべてであり、すべての中におられます。b神のエコノミーにおける神の意図は、すばらしい、すべてを含む、無限に拡張するキリストを、私たちの存在の中へと造り込んで、私たちの命またすべてとすることです。それによって、私たちは三一の神の団体的な表現となります。4神のみこころは、すべてを含み無限に拡張するキリストが私たちの分け前となることです。5神のみこころは、私たちがキリストを認識し、キリストを経験し、キリストを享受し、キリストで浸透され、キリストを私たちのパースンまた命とすることです。D神のみこころは、キリストのからだとしての召会を持つことです:1神のみこころは、キリストのためにからだを得て、彼の豊満、彼の表現とすることです:ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。aからだの生活をするとは、「何が神のみこころであるか...を...わきまえる」ことです。bもし私たちがからだの正しい肢体であり、召会生活の中で活動し機能しているなら、私たちは神のみこころの中にある人となります。2召会はキリストのからだであって、三一の神と彼の選ばれ贖われた者たちとで構成されている実体です。3キリストはからだのかしらであり、私たちは彼のからだの肢体です:aからだの中で生きることは、かしらの下で肢体たちと共に団体的な生活をするということです。bからだの生活をするために、私たちはかしらの下にいないければならず、またかしらを私たちの命、私たちの全存在の主体と中心としなければなりません。4からだは、神の増し加わりによって成長します。からだの成長は、私たちの中での神の増し加わり、神の増加、増大にかかっています。E御父のみこころを行なう者はだれでも、主イエスの親族です:マタイ12:49 そして、彼は弟子たちに手を伸ばして言われた、「見よ、私の母と私の兄弟たちを! 50 なぜなら、天におられる私の父のみこころを行なう者はだれでも、私の兄弟、また姉妹、また母だからである」。1天の王であるキリストは、常に御父のみこころに服従し、神のみこころを自分の分け前として受け入れ、どんなことにも抵抗しませんでした。2御父のみこころを行な

う者はだれでも、主イエスを助ける兄弟、彼に同情する姉妹、彼を優しく愛する母です。【F】王国は、絶対的に神のみこころの事柄であり、神のみこころを完全に成就します。実は、王国は神のみこころです。【1】天の王国の憲法の究極的な結果は、天の御父のみこころです。【2】王国の民として、私たちはこの地上で神のみこころを行ないます。【G】王国の民は、御父のみこころが天で行なわれているように地でも行なわれるようにと祈る必要があります。これは、天の王国を地上にもたらすことです。

II.「私に向かって『主よ、主よ』と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが入るのである」(マタイ7:21):A主を呼び求めることは、私たちが救われるのに十分です。しかし、天の王国に入るためには、天の父のみこころを行なう必要もあります。【B】天の王国に入ることは、天の父のみこころを行なうことを要求するのですから、それは再生されて神の王国に入ることとは明らかに異なっています。【C】天の王国に入ることは、神聖な命の生活を通して獲得されます。【D】主の御名の中で、予言し、悪鬼どもを追い出し、多くの力あるわざを行なった者たちを、主イエスは叱責しました。なぜなら、彼らは「不法の働き人」として、これらの事柄を自分自身から行なったのであって、神のみこころへの服従から行なったのではないからです：マタイ7:22 かの日には、多くの者が私に言うであろう、「主よ、主よ、私たちはあなたの御名の中で予言し、あなたの御名の中で悪鬼どもを追い出し、あなたの御名の中で多くの力あるわざを行なったではありませんか?」。23 その時、私は彼らに宣告する、「私はあなたがたを全く知らなかった。不法の働き人よ、私から去れ」。1ヨハネ3:4 すべて罪を実行する者は、また不法を実行します。罪は不法です。【1】宇宙には二つの原則があります。すなわち、神の権威の原則と、サタンの反逆の原則です。【2】私たちは、一方で神に仕え、他方で反逆の道を歩むことはできません。【3】私たちは、不法の原則から離れ、反逆の道を拒絶しなければなりません。【4】神に仕えることは、神の権威と直接的なつながりがあります。【5】もし私たちが権威の事柄を解決しなければ、私たちの奉仕のすべての領域において問題を持つでしょう。【E】どうか主が私たちの奉仕を、神の権威と御父のみこころとに対する服従の原則の中に保ってくださいますように。【証】今週のOIは言います、「I.D.1.aからだの生活をするとは、何が神のみこころであるか...を...わきまえることです。【b】もし私たちがからだの正しい肢

体であり、召会生活の中で活動し機能しているなら、私たちは神のみこころの中にある人となります」。ここで、神のみこころが召会生活の実行であることを見ます。長年、このビジョンが私を照らし、修正し、造り変え、強めてきました。特に、1992年4月神戸に家族で移住し、3名で召会生活を開始し始めた頃、それは一見して、ただの少数の人の集まりであったので、私は内側で喜びを感じながらも、時々失望しそうになることもありました。1コリント1:26 兄弟たちよ、あなたがたの召しを考えてみなさい。肉によれば知者は多くはなく、力ある者も多くはなく、生まれの良い者も多くはありません。27 しかし、神は知者を辱めるために、この世の愚かな者を選ばれました。また神は強い者を辱めるために、この世の弱い者を選ばれました。しかし、神のみこころである召会生活を思い出して、兄弟姉妹を霊的な視力をもって再評価し、祈りました、「おお主イエスよ、私は召会生活を実行しなければ、神のみこころに触れ、神のみこころを実行することはできません。私の地方召会の兄弟姉妹たちは、あなたの命と性質をもったキリストの生ける肢体です。私は御前に悔い改めます。私の罪を赦してください。彼らはこの世の人たちとは大いに異なります。私は彼らとの交わりを尊び、私の召会生活を愛します」。

さらに、OIは言います、「II.D.1 宇宙には二つの原則があります。すなわち、神の権威の原則と、サタンの反逆の原則です。【2】私たちは、一方で神に仕え、他方で反逆の道を歩むことはできません。【3】私たちは、不法の原則から離れ、反逆の道を拒絶しなければなりません」。この認識は私に対する警告であり、私が召会生活を送り、機能しなければ、サタンの反逆の原則の中にいることをはっきり示しています。私は当時この認識をもって祈りました、「私の人生には、二択しかありません。神の権威に服するか、サタンの反逆に巻き込まれるかの二択です。これ以外の道はありません。私は何が何でも神に服する道を選びたいです。私を憐れんで、全生涯、サタンの策略に対抗して神に服する道を歩めるようにしてください」。このように祈る時はいつも、私の心の目は、主と彼のエコノミーに焦点を合わせることができ、私の前の霊的な視界がはっきりし、大胆に前進することができました。

召会生活は神のみこころですので、人数が少なくても、霊的に強い人がいなくても、召会は神の傑作です。私は今日、神のみこころを実行しなければ、キリストの裁きの座の日に、主に不法の働き人と呼ばれ、退けられます。